

# 青少年ひょうご

No.100  
2020年1月発行

編集・発行



公益財団法人  
兵庫県青少年本部  
Hyogo Youth Services Administration

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 兵庫県民会館 8 階  
TEL.078-891-7410 FAX.078-891-7418  
http://www.seishonen.or.jp/

## 特集

- ①「青少年ひょうご」100号記念
- ②「ひょうご青少年憲章」



青年洋上大学海外養成塾（ベトナム）

## CONTENTS

特集	P2・P3
本部事業報告	P4・P5
地方青少年本部だより	P6
青少年施設だより	P7
お知らせ・青少年団体紹介	P8

### 沖縄県首里城再建 義援金募集

兵庫県では、令和元年10月31日未明に発生した大規模な火災で焼失した沖縄県首里城の再建を支援するために、「首里城火災義援金募集委員会」を設立し、義援金の募集を行っています。皆さまの温かいご支援をお願いします。  
【問い合わせ】兵庫県企画県民部女性青少年局青少年課  
☎078-362-3143

※募集期間については、1月末日までを予定しています。詳しくはお問い合わせ下さい。

### 地方青少年本部

阪神南青少年本部 06-6481-4634	阪神北青少年本部 0797-83-3138	東播磨青少年本部 079-421-9105	北播磨青少年本部 0795-42-9352	中播磨青少年本部 079-281-9198
西播磨青少年本部 0791-58-2131	但馬青少年本部 0796-26-3648	丹波青少年本部 0795-72-5168	淡路青少年本部 0799-26-2048	神戸事務部 078-647-9091

# 「青少年ひょうご」100号記念

昭和60年に創刊された機関誌「青少年ひょうご」が、第100号を迎えることとなりました。

これまで様々な青少年活動の情報を提供してきた「青少年ひょうご」。今回、第100号を記念して、青少年の健やかな成長を願い、青少年に寄り添ってきた公益財団法人青少年本部の歩みを「青少年ひょうご」とともに振り返ります。

## 〈No.1〉 昭和60年7月



財団法人兵庫県青少年本部が誕生した国際青年年の昭和60年、記念すべき第1号が発行されました。坂井知事のあいさつが巻頭を飾っています。

## 〈臨時号〉 平成7年5月



阪神・淡路大震災が発生した平成7年、「青少年ひょうご」初の臨時号が発行されました。2色刷りとなった臨時号では、避難者への炊き出しや被災された方を励ます交流会、子どもたちの心のケアなどの情報が掲載されています。

## 〈No.32〉 平成8年7月



平成8年、青少年や団体の交流・研修の場として、神戸クリスタルタワーの7階に「青少年交流プラザ」が開設されました。現在は、県民会館に場を移し、多くの青少年が利用しています。

## 〈No.40〉 平成12年7月



平成12年、「ひょうご青少年憲章」（新憲章）が制定され、ひょうご青少年憲章制定記念大会が開催されました。第40号では、大会の様子が巻頭を飾っています。

## 〈No.67〉 平成21年4月



平成21年、青少年本部は財団法人から県下第1号となる公益財団法人へと移行しました。発足記念号となった第67号では、新たなスタートとなる法人の設立目的が掲載されました。

## 〈No.98〉 平成31年2月



昭和43年に発足した兵庫県青少年本部が平成30年に創立50周年を迎えました。第98号では、兵庫県公館において盛大に開催された記念式典の様子が特集されました。記念式典では、サッカー日本代表監督の岡田武史さんをお迎えし、講演いただきました。

# 「ひょうご青少年憲章」

兵庫県青少年憲章は昭和58年6月27日、深刻化する青少年非行や家庭内暴力の克服を目指し、青少年の育成指針として制定されました。平成12年には、社会環境の変化や阪神・淡路大震災、須磨事件などを踏まえて、見直しが行われました。

この憲章のもと、青少年が未来へ大きく羽ばたいていくために、家庭で、学校で、そして地域で、大人がすべきこと、青少年自身に取り組んでいくことを話し合い、できることから実践していきましょう。

今回、青少年ひょうご100号記念の特集として、見直しからちょうど20年を迎える憲章を改めて紹介します。

## 日本語

### ひょうご青少年憲章

いま、私たちは暮らしや社会のあり方が大きく移り変わる転換の時代にありますが、先の阪神・淡路大震災は、人と社会に何が必要なのかを改めて教えてくれました。

私たちは、これまでの自分の生き方を省みて人間生活の基本に立ち返り、自らを尊ぶと同時に、家庭や地域や国、そしてかけがえのない地球に生きる人間として、ひょうごの明日を担う青少年とともに、自信と夢と勇気をもって21世紀を築いていくことを誓い、この憲章を定めます。

- 1 自分を大切にし、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気を持って未来を拓いていこう

平成12年3月15日制定 新兵庫県青少年憲章制定県民会議

## 英語

### Hyogo Youth Charter

Today, we are in a time of transition, where lifestyles and society are changing greatly, but the Great Hanshin-Awaji Earthquake has taught us again what is necessary for people and society.

We return to the basics of human life and reflect on our own way of living to date, while respecting ourselves.

As people living in homes, regions, countries, and the irreplaceable earth, together with young people supporting Hyogo's future, we pledge to build the 21st century with confidence, dreams and courage.

Accordingly, we established this Charter.

- 1 Cherish ourselves, have self-discipline, and be accountable for our actions
- 2 Deepen connections, have a sense of justice, and live as a person who supports society
- 3 Live with a heart that feels other people's pain and joy
- 4 Accept the existence of diverse people and live together
- 5 Live by loving nature, respecting life, and be firm even when dealing with the unknown
- 6 Learn from our predecessors, write our dreams for tomorrow, and open up the future with courage

March 15, 2000 enacted  
Prefectural meeting for establishment of a new Hyogo Prefecture Youth Charter

## 中国語

### 兵庫青少年宪章



- 1 自尊，自律，言而有信，行而有责。
- 2 加深友谊，持有正义感，并肩负社会之责任。
- 3 关爱他人，能与他人共享欢乐与痛苦。
- 4 以宽容之心待人，共建和谐社会。
- 5 敬畏大自然，珍惜生命。以谦虚的态度适应多变的社会。
- 6 学习先辈，憧憬未来，勇于创新。

## 青年洋上大学海外養成塾

国際性豊かな青年リーダーを育成する、兵庫県青年洋上大学海外養成塾。5回目となる今回は、令和元年9月16日から6日間の日程で、大学生と社会人の79人の若者がベトナム社会主義共和国を訪問し、現地学生との交流、省政府や日系企業、歴史文化遺産の視察等を行いました。

ベトナム国家大学外国語大学訪問では、現地学生と意見交換を行い、ベトナムならではの事情や日本との共通点などが話し合われ、交流夕食会では相互に歌と踊りを披露し、大いに交流を深めることができました。

県と友好関係のあるハナム省人民委員会への表敬訪問では、フィー副委員長はじめ幹部の方々から盛大な歓待を受けました。

日系企業視察では、ホンダベトナムとシンフォニアマイクロテックを訪問し、ベトナム進出の経緯などについて説明を受け、工場見学等を行いました。

ヌイチック日本語センター学生との交流では、現地学生とハノイ市内を散策し、現地学生の説明を受けながら、カフェや市場、大聖堂など、ベトナムの雰囲気存分に味わいました。

帰国後に開催した事後研修では、海外で得た経験、課題意識、今後の目標などを話し合い、研修成果をまとめ、国際社会や地域社会で自分たちが果たす役割などを発表し新たな兵庫づくりに挑戦することを誓い合いました。



## ふるさとづくり青年隊

地域の活性化や課題解決に取り組む団体と連携して、青年のふるさとへの関心や地域貢献への関心を高め、これらの取り組みを通じて、地域づくりの核となる青年を育成していくことをねらいとした助成事業です。

今年度は、里山の様々な暮らし体験を多くの人々に発信するプロジェクト「田舎フェス」の開催や、各地で深刻な課題となっている空き家問題に取り組む団体が「空き家マルシェ」を開催。他にも各地域で、団体事務局を中心に、地元青年と公募青年が協力してイベントや活動で大活躍。その役割を十分に果たしていました。



紡-TSUMUGI- (多可町)



NPO 法人里野山家 (三田市)

## ひょうごっ子・ふるさと塾

青少年が「身近な地域での社会体験」や「豊かな自然に触れる体験」をすることで、世代間や地域間の交流を深めるとともに、ふるさとを大切にすることを養い、ふるさと意識の醸成を図ることを目的とした助成事業です。

今年度は、青少年団体連絡協議会を構成する17団体40事業に補助金を活用いただいています。子ども会やボーイスカウト等の団体活動をはじめ、青年会議所や商工会青年部のイベントにも役立てられており、ふるさと兵庫の未来を担う「ひょうごっ子」をさまざまな角度から育てています。



日帰り型ひょうごのさとやま体験2019/  
兵庫県青年洋上大学同窓会

わくわくワーク/多可町商工会青年部



## ひょうご子ども・若者応援団 次世代育成支援特別助成事業

兵庫県青少年本部の創立50周年を記念して、テーマ「夢がある一人ひとりが輝いて」に沿った、次世代を生きる子どもたちを応援するためのプログラム（①国際交流 ②人材育成 ③コミュニケーションづくり）の事業化支援を始めました。

今年度は、1事業あたり50万円を限度として、3団体に助成しており、青少年の国際交流を目的とした事業として、成果を上げています。



ワールドフェスタ・あかし  
(令和元年11月) / 多文化  
センターまんまるあかし



ベルリンカニジウス高校オーケストラ  
来県演奏会・交流会 (令和元年10月) /  
兵庫県世界青年友の会

## 人とつながるオフラインキャンプ2019



令和元年8月17～21日の4泊5日で、「人とつながるオフラインキャンプ2019」を実施しました。このキャンプは、県立いえしま自然体験センターで、ネットから離れ、カヌーや野外炊事などの自然体験を通じて、日常生活でのネット利用をふりかえることを目的としており、14人の青少年が参加しました。

参加者にとっては、大学生や他の参加者とのつながりを通じて、リアルの充実を感じるとともに日常生活を見つめ直す良い機会となりました。最終日には一人ひとりが考えたこれからのリアルでの目標、ネットでの目標を発表しました。

参加者にとっては、大学生や他の参加者とのつながりを通じて、リアルの充実を感じるとともに日常生活を見つめ直す良い機会となりました。最終日には一人ひとりが考えたこれからのリアルでの目標、ネットでの目標を発表しました。

## 兵庫・沖縄夏期友愛キャンプ

兵庫県・沖縄県友愛運動の一環として、昭和48年から実施されている友愛キャンプは今年度で47回目を迎えました。夏は兵庫青年が沖縄へ行き、冬には沖縄青年が兵庫に来て、お互いの文化・歴史・自然を学ぶとともに、交流を深めています。

平和祈念資料館では沖縄戦について沖縄の青年たちから説明を受けるなど、同世代から学ぶ平和学習が印象的でした。離島の伊江島にも渡り、豊かな自然を満喫しながら、いつまでも続く友愛の絆を約束しました。



## 子どもの居場所づくり交流会2019

「まちの子育てひろば」「子どもの冒険ひろば」「若者ゆうゆう広場」等、子育て支援活動を展開している約170人が集い、令和元年10月18日、「みんなの居場所づくり」をテーマに開催しました。

今年は青少年本部表彰から幕を開け、講演会では結び手の森山和泉代表から、発達障害がある子どもたちとの関わり方などについてイラストを交えてお話いただきました。後半は、NPO法人こうべユースネットの辻理事長をコーディネーターとして「居場所ってなあ～に？」をテーマにグループワークを実施し、「みんなにとっての居場所」について多くの意見が出されました。

## 少年の主張兵庫県大会 「中学生のメッセージ2019」

県内の中学生たちが日常生活等の体験を通し、考えていることや感じていること、将来の夢などを広く県民に伝える「少年の主張兵庫県大会」を令和元年9月29日に兵庫県民会館で開催しました。



当日は、応募者8,461人の中から各地区で選抜された10人の中学生が、それぞれの主張を力強く発表しました。

最優秀賞には「私は日本人!？」を発表した新温泉町立夢が丘中学校3年生の稲垣沙耶香さんが選ばれました。外国人や日本人などは関係なく、一人ひとりが尊重される社会を作りたいと主張しました。

最優秀賞：新温泉町立夢が丘中学校3年 稲垣 沙耶香さん

優秀賞：淡路市立東浦中学校3年 富田 めぐみさん  
(発表順) 高砂市立松陽中学校3年 宮本 詩愛奈さん

**青少年を暴力団から守ろう!!**

（公財）暴力団追放兵庫県民センター 神戸暴力相談所 ヤクザゼロ  
078-362-8930

**阪神南** 青少年本部 「親子演劇鑑賞体験」を開催しました！！

令和元年8月3日、尼崎青少年創造劇場のピッコロ劇団公演「歌うシンデレラ」を抽選で選ばれた



親子52ペアが鑑賞しました。劇場のバックステージ解説や劇団員との記念撮影もあり、楽しい時間を過ごしました。

**阪神北** 青少年本部 阪神北彩りフェスタ☆若い力の魅力を発信！

令和元年11月3日、地域の魅力発信イベント「阪神北彩りフェスタ」（いながわまつりと共催）において、地域の伝統を復活させた高校生の獅子舞や、ロボットサッカー操作体験など、青少年が日頃の活動の成果を発信しました。



**東播磨** 青少年本部 第40回未来をひらく少年会議

令和元年8月19日、加古川市民会館小ホールにおいて、東播磨・北播磨の中高生120人が参加し、子どもたち・居場所づくりの現状、地域でやってみたいことについて議論しました。



**北播磨** 青少年本部 どんり子サッカー大会

令和元年6月2日に県立やしらの森公園の水田で、大学生リーダーの企画・運営による、どんり子サッカー大会を開催しました。北播磨地域の小学生61人が、サッカーやドラム缶風呂等を楽しみました。



**中播磨** 青少年本部 ふれあいカヌー体験会

令和元年7月13日、福崎町青少年野外活動センターのため池で小学生を対象に、カヌー体験会を開催しました。水辺の楽しさや危険、水生生物や自然環境についても学びながら、活気溢れる体験会となりました。



**西播磨** 青少年本部 親子ドラゴンボート体験教室

令和元年8月10日、国内強豪チームの地元の青年たちの指導による親子ドラゴンボート体験教室を開催しました。親子等83人が相生湾に漕ぎ出し、力を合わせてレースや遊覧を体験しました。



**但馬** 青少年本部 山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会

令和元年10月26日、全但バス但馬ドーム周辺コースにて開催しました。但馬地域及び京都府京丹後市、鳥取県鳥取市・岩美町から48校、男女合わせて98チーム、総勢522人の児童が参加し、仲間との絆を育むとともに、府県を越えた交流を図りました。



**丹波** 青少年本部 たんば子ども塾

夏休み期間中に、地域の6つの高校の生徒が先生になり、小学校4～6年生の児童が、観察、工作、楽器演奏、園芸、化学実験、パソコンなどの活動を体験する「たんば子ども塾」を開催しました。



**淡路** 青少年本部 第35回淡路青少年の主張大会

令和元年8月31日、島内の小中学校678点の応募作品の中から、事前選考を通過した入選者12人が、淡路島の魅力や将来の夢、社会問題への提言など、日頃の熱い思いを発表しました。



**神戸** 事務部 夏休み子ども木工教室

令和元年8月22日、新長田にある「ふたば学舎」にてNPO法人ふたばと共催の木工教室を開催しました。親子で声を掛け合い協力し合いから角材を使ってイスやベンチを作り、楽しく絆を深めました。



## 収穫したお米で飯ごう炊さん

### 兵庫県立神出学園

〒 651-2304  
兵庫県神戸市西区神出町小束野30  
TEL 078-965-1122



兵庫楽農生活センターとの連携事業で令和元年11月12日、米づくりを体験して学ぶ「農業体験」の一環として、学園生が飯ごう炊さんに挑戦しました。

6月から同センターのほ場（1000㎡）を利用して田植えから稲刈りまでを体験し、収穫したお米で飯ごう炊さんを行いました。最初、学園生は火おこしに苦労して、煙に包まれましたが、やがて飯ごうからお米の炊けるよい香りに包まれていました。

炊きあがったご飯はとても美味しく、食堂で準備してもらったカレーとともにほおぶる学園生は、お互い笑顔で半年間の取り組みを振り返っていました。



兵庫楽農生活センターとの連携事業で令和元年11月12日、米づくりを体験して学ぶ「農業体験」の一環として、学園生が飯ごう炊さんに挑戦しました。

## 長野市で災害ボランティア活動

### 兵庫県立山の学校

〒 671-2515  
兵庫県宍粟市山崎町五十波430-2  
TEL 0790-62-8088

令和元年11月12～15日、台風19号の甚大な被害を受けた長野市で災害ボランティア活動をしました。

千曲川の堤防が決壊し、家屋やりんご園などに大量の泥土が流入している状況でした。生徒たちは、廃棄する家財を分別して搬出したり、りんごの木の根元に30センチ程度に堆積した泥の撤去を行いました。

活動の間には、全国各地のボランティアの方々と交流でき、生徒たちにとって学びが多い活動となりました。



## ヨット教室を開催

### 兵庫県立いえしま自然体験センター

〒 672-0100  
兵庫県姫路市家島町西島  
TEL 079-327-1508

平成31年4月27～29日に2泊3日で実施した「ヨット教室春」には23人が参加しました。残念ながら1日目は強風で乗ることができませんでしたが、2日目以降は天気が回復し、毎年恒例のNISHIJIMA'S CUPを開催することが出来ました。クラスAでは接戦の結果、中学生が優勝。和気あいあいと、とても楽しいヨット教室となりました。



ヨット体験は海洋スポーツの素晴らしさ、自然の素晴らしさをダイレクトに体験することができます。ぜひ、いえしまからヨットへの第一歩を踏み出してみませんか。



## ロケットストーブ教室 兎和野の森は宝の山！

### 兵庫県立兎和野高原 野外教育センター

〒 667-1336  
兵庫県美方郡香美町村岡区宿791-1  
TEL 0796-94-0211



令和元年11月17日、秋まっ盛りの兎和野高原に6組のメンバーが集合、但馬自然史研究所の本庄所長指導の下、ロケットストーブ作りです。「ロケットストーブは、森と生活を結ぶ素晴らしい装置」と説明を受け、一斗缶とステンレス煙突、パーライトを使って作りしました。昼休みには、落ちてくる枯れ枝や松ぼっくりを使って点火。「ゴーゴー」と大きな音（これでロケット）を立てながらすごい火力、家族みんなで協力してできたストーブ。「持ち帰ったら早速近くの枝を拾ってきてカレーを作ります！」とうれしい感想。兎和野の森が宝の山に見えてきた一日でした。



## 『NHK 神戸放送局との親子イベント “Let's クリスマスパーティ”』

### 兵庫県立こどもの館

〒 671-2233  
兵庫県姫路市太市中915-49  
TEL 079-267-1153

令和元年12月24日、NHK 神戸放送局と共同して、同局の1階「ドアステキッズの森」で、クリスマス为主题にした親子向けイベントを開催しました。当日は、ピアノの木田陽子さんやバレエダンサーの瀬戸口高史さんによる、プロの特別ステージで華々しく始まりました。引き続き、速水順一郎さんによるバルーンアートや紙工作、県立こどもの館によるクリスマス工作を大勢の親子で楽しみました。

また、司会等で県立兵庫高等学校の生徒や、ボランティアの大学生が活躍。親子と一緒に、クリスマスのすてきなひと時を過ごしました。

なお、この催しは、これからも定期的（月一回程度）に開催する予定です。



# お知らせ掲示板

## ふるさとづくり青年隊 2019年度活動報告会参加者募集

地域課題に取り組む団体が、さまざまな地域の青年を受け入れ、協働する「ふるさとづくり青年隊」事業。今年度は県内9団体の活動に参加した青年たちが一年間の活動を振り返り発表を行います。青年隊の熱い思いを聞きに、ぜひお越しください！（参加費無料）  
日時 令和2年3月1日（日）13:00～  
場所 姫路キャッスルグランヴィリオホテル

## 「ひょうご子ども・若者応援団」 一般助成事業（上期）申請受付中！

企業等からの寄付金を原資として、青少年活動を行う団体等に助成を行います。

- ①助成対象となる団体  
県内に活動拠点を置き、規則・会則の中に青少年の健全育成が明記されている団体・グループ。
  - ②助成対象となる事業  
・実施期間 令和2年4月1日（水）～9月30日（水）  
・事業メニュー（例）自然観察・体験、野外活動、地域交流・貢献、お話し会・お遊び会 等
  - ③助成額 1団体あたり10万円を限度に助成
  - ④申請書受付期間  
令和2年1月20日（月）～2月21日（金）必着  
※3月中旬に審査会を行い、結果を通知します。
- 連絡先（公財）兵庫県青少年本部  
ひょうご子ども・若者応援団  
☎ 078-891-7410 FAX 078-891-7418

## ☆来年度実施予定の主な募集事業☆

募集（参加申込み、助成申請）の詳細は、随時、青少年本部のホームページに掲載されますのでご覧ください。

- ふるさとづくり青年隊事業  
（実施団体及び参加青年を2月に募集開始予定）
- 人とつながるオフラインキャンプ  
（8月開催予定☆参加者募集は6月頃）
- 兵庫・沖縄青年リーダー交流事業  
（8月（沖縄）開催予定☆参加者募集は5月開始予定）  
（2月（兵庫）開催予定☆参加者募集は12月開始予定）
- 少年の主張兵庫県大会  
（各地域での審査の後、全県大会を9月26日開催☆原稿募集は5月以降）
- スマホサミット in ひょうご2020  
（12月開催予定☆参加者募集は11月頃）

## 雑記帳

- ふるさと青年協力隊「豊か会」解散式  
・令和2年2月22日（土）13:30～ 神戸市教育会館  
・詳しくは活動支援部（小川・上野）まで
- 令和元年11月25日～28日に神出学園のK君が当本部でインターンシップを体験。ご苦労様でした。
- 当本部の前評議員の速水順一郎氏が兵庫県社会賞を受賞。おめでとうございます。

## 青少年団体紹介 Vol.1



兵庫県青少年団体連絡協議会（以下、青团連）は、「兵庫県内で活動する青少年団体の主体的で自立的なネットワーク」として23の青少年団体が加盟し、青少年本部と連携しています。今号から、青团連加盟団体を順次紹介していきます。

### 一般社団法人兵庫県子ども会連合会

～人と人、人と地域をつなぐ～

〒651-0062  
兵庫県神戸市中央区坂口通2丁目1-1  
Tel. 078-221-4081  
Fax. 078-230-9670



当会は、地域子ども会の育成および組織化を目指し、兵庫県の児童課（当時）・教育委員会社会教育課・県社会福祉協議会の協議によって、1953年に発足。現在は8つの県民局にブロック子連、行政・社協・任意団体等40の市・町子連があり、ここに紐づく地域の単位子ども会があります。

現在、県内約13万人の会員の皆様とともに、いきいきと子どもが育つ地域づくりを目指して様々な事業を展開しています。



兵庫県子ども会オセロ大会

出会いGO! HYOGO! ひょうご出会いサポートセンターをご活用ください！

～兵庫県があなたの出会いをお手伝い～

あいサポ会員

はばタン会員

イベントで気軽に婚活を始めたい お見合いでじっくり考えたい

ひょうご出会いサポートセンターが LINE始めました！

友だち追加はこちらから

## 賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります  
～ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載しています～

次代を担う青少年を育成するためぜひご協力をお寄せください

**会費** 賛助会員（個人）年額 1口 2,000円以上  
賛助会員（法人）年額 1口 10,000円以上

賛助会員カードを提示すると、県内の美術館等で  
**入館料・入園料割引等の特典**  
を受けることができます

\*詳細は、兵庫県青少年本部、または各地方青少年本部までお問い合わせください